

総務

所管事務調査

- 10/20 任期中の調査テーマについて
- 11/25 管外行政視察について
- 11/28 会期中の所管事務調査について
- 12/9 脱炭素先行地域の計画概要と進ちよく状況について

所管事務調査

総務常任委員会は、向こう2年間の調査テーマとして「エネルギーについて」と「防災のまちづくり」を掲げています。そこで、12月9日に市役所で「脱炭素先行地域の計画概要と進ちよく状況」について、市企画部脱炭素推進室の大友真也室長と松木翔係長から現状説明を受けました。

「脱炭素先行地域」とは、農漁村等の地域課題を解決しながら脱炭素の取り組みを進める地域のことです。本市は令和6年9月に環境省から選定を受けました。総事業費は約58億200万円で、このうち国の交付金が34億6600万円、市一般財源が1億1700万円、民間事業者資金等21億2400万円などで、本市



メタン発酵の実証実験
(ワタミオーガニックランド内)

として現地調査や視察などを行っていくことを確認しました。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 藤倉泰治 |
| 副委員長 | 佐々木一義 |
| | 菅野広紀 |
| | 伊藤明彦 |
| | 鵜浦昌也 |



「脱炭素先行地域」の説明を受ける

教育民生

所管事務調査

- 10/20 所管事務調査重点項目(テーマ)について
- 11/28 会期中の所管事務調査について
管外行政視察について
- 12/9 本市における部活動地域移行の現状と課題について

調査テーマを決定

教育民生常任委員会は、10月20日に今後2年間の調査テーマについて協議しました。その結果、昨年9月に委員会発議により制定された「陸前高田市こども基本条例」を基盤とし、総合的な視点から政策提言につなげていくため、「こどものウェルビーイングの向上」を調査テーマとして位置付け、取り組みを進めていくこととしました。

ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを指し、短期的な幸福感にとどまらず、生きがいや人生の意義といった将来にわたる持続的な幸福を含む概念とされています。今後は、こどもを取り巻く環境を幅

所管事務調査

広い視点から捉え、長期的な環境改善に向けた調査研究を進めていきます。

12月9日には、本市における部活動の地域移行の現状と課題について所管事務調査を実施し、千葉達教育次長、吉田亜矢子学校教育課長、高橋純基主任主事から説明を受けました。

本市では、令和10年度以降の完全地域移行を目標に、段階的な移行に取り組んでおり、先行して移行が可能な種目から実施し、その成果と課題を検証していく考えが示されました。

課題としては、こどもの移動支援や保護者の経済的負担への支援、クラブ運営に対する財政支援、指導者の確保などについて、保護者から懸念の声が上がって



部活動地域移行について説明を受ける

いることが報告されました。

今回の調査を踏まえ、他市事例の把握や保護者との意見交換などを行いながら、課題整理に向けた検討を進めていくこととしています。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 良子卓喜一 |
| 副委員長 | 佐々木利修 |
| | 木坪林田川 |
| | 大福及 |